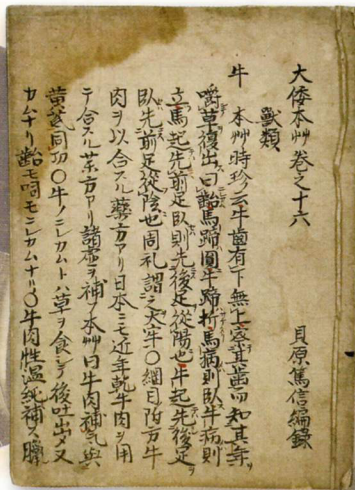
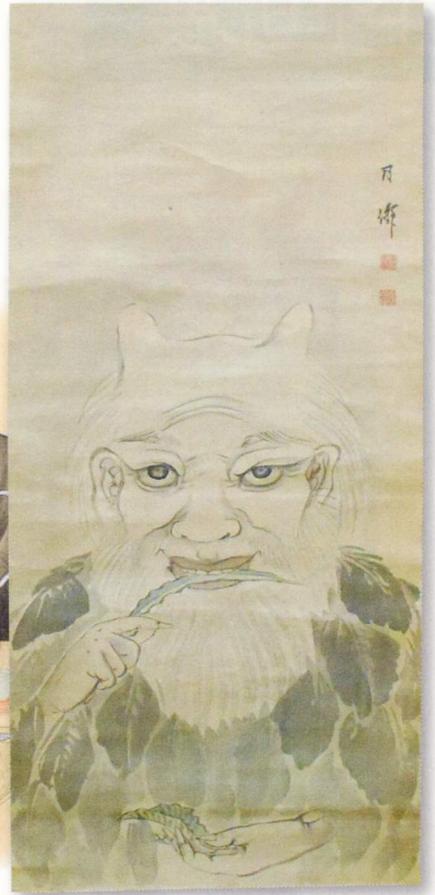




「本草綱目」(個人蔵)



「大和本草」(個人蔵)



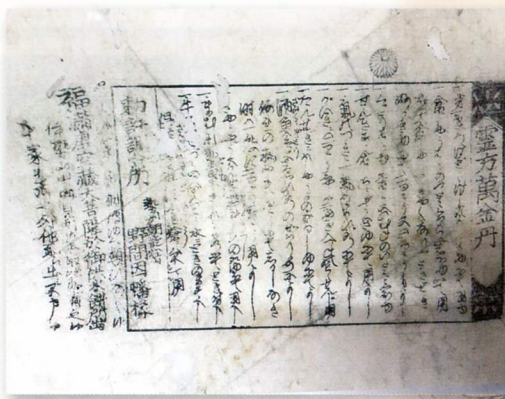
「神農図」月僊画(個人蔵)



黒丸子看板(当館蔵)



薬草御触書写(森野旧薬園蔵)



萬金丹効能書(個人蔵)



江戸中期、將軍吉宗の命を受け、松阪出身の丹羽正伯、植村政勝は、採葉使として活躍、日本の本草学の発展に大きな役割を果たします。その後も「蘭学中期の大立者」と言われた宇田川玄真をはじめ多くの本草学者を輩出しています。地元松阪を拠点に活動した松本駝堂、山村通庵、殿村常久もいます。まさしく多士濟濟、個性豊かな松阪が誇る本草学者たちを紹介いたします。

背景画像：武田科学振興財団 杏雨書屋所蔵